



DISEC News 2009年10月号では、ダイセックが販売およびインテグレーションを開始しました「電子運転日誌システム」についてのご紹介、ならびに「シーメンスソリューションパートナー」への取り組みについて、ご紹介します。

## 電子運転日誌システムについて

ダイセックでは、「St James Software 社」が提供する、電子運転日誌システムソフトウェア **j5 OMS** の販売ならびにインテグレーションを、日本での代理店である「大坂システム計画株式会社」様と共同で行っています。



## 電子運転日誌システム紹介

### j5 OMS とは

**j5 OMS (Operations Management System)** は、電子運転日誌を中核に、数多くの運転管理アプリケーションから構成される運転管理システムです。

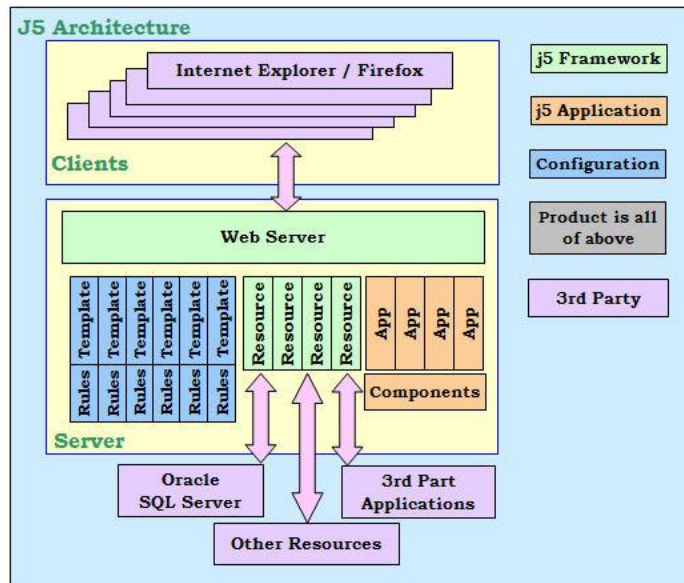
j5 OMSは運転管理システムのマーケットリーダとして、多くの著名な企業の 運転現場で採用されており、全世界で数百に及ぶシステムが稼働中です。

詳しくは、同封しているカタログを参照ください。



### j5 OMS の特長とアーキテクチャ

- ・拡張可能なフレームワークを使用し、様々な業界向けの運転管理アプリケーションに対応
- ・パッケージ製品でありながら、ユーザの要求に応じてデータ構造や画面レイアウトを変更可能
- ・オープンなアーキテクチャ
  - ・OSに依存しないアーキテクチャ (Windows, Linuxに対応)
  - ・クライアントはInternet Explorer, Firefox, Safari などのブラウザに対応
  - ・データベースは、Oracle, SQL Server, MySQL などに対応
- ・各種の外部システムインターフェースモジュール: OPC, SOAP, E-mailコネクタ, 他
- ・簡単に操作しやすいコンフィグレーションユーティリティ
- ・ビジネスルールは、スクリプトで定義可能

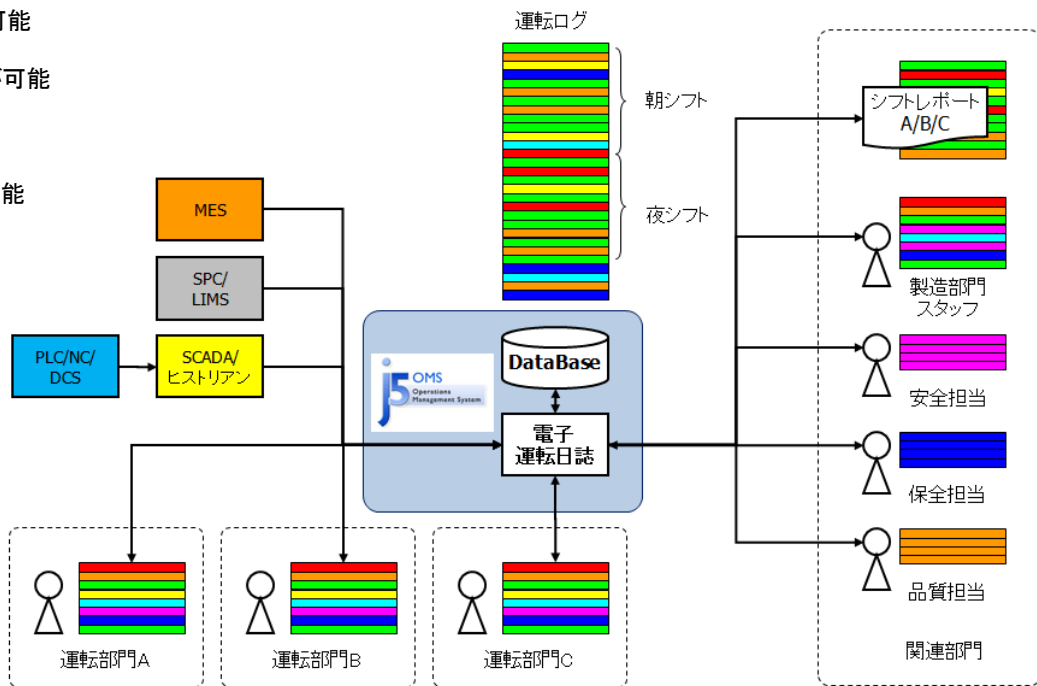




## j5 OMS の活用方法と効果

J5 OMS を利用すると、下図のように運転部門の作業員、現場系システムの情報を効率良く収集し、関係者へ配信が可能になります。

- ・非定型情報の電子化、共有が可能
- ・運転管理情報の共有が可能
- ・コミュニケーション方法の標準化が可能
- ・情報伝達の迅速化が可能
- ・運転ノウハウの蓄積が可能
- ・運転時の課題発掘が可能
- ・変化、気掛かり事項の可視化が可能

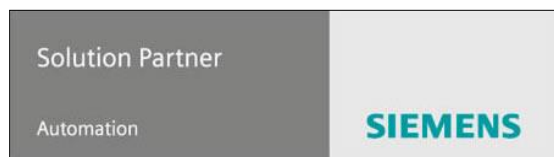


## シーメンスソリューションパートナーについて

ダイセックは、産業用電気機器における世界No.1サプライヤーであるシーメンスのソリューションパートナーになりました。

ダイセックでは、シーメンスのSCADAソフトウェア WinCC の販売、および WinCC をベースソフトウェアとして使用した、製造現場のシステムインテグレーションを行っています。

WinCC の紹介、および WinCC をベースソフトとして使用する事例などは、次号よりご紹介を開始します。ご期待ください。



## イベント情報

ダイセックでは、2009年11月25日～28日の間に、東京ビッグサイトで開催されるシステムコントロールフェアの、シーメンス株式会社様出展ブースで、SCADAソフトウェアWinCCのアプリケーション展示協力をいたします。

ご招待状を同封いたしましたので、是非ご来場ください。



### お問合せ先

株式会社ダイセック ダイセックNews事務局

〒733-0834 広島市西区草津新町1丁目21番35号  
 TEL 082-278-8777  
 FAX 082-278-8781  
 E-mail: DISEC-news@disec.co.jp  
 URL http://www.disec.co.jp

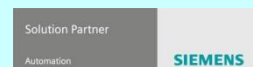
ダイセックは、三菱電機 e-F@ctory, EZSocket パートナーです。



ダイセックは、DataNet の日本における代理店です。



ダイセックは、シーメンスソリューションパートナーです。



ダイセックは、Microsoft 認定ゴールドパートナーです。

